

ゆう しん

有信

第165号

2023秋～2024冬

2024年(令和6年)3月



福岡大学同窓会報

(編集・広報委員会)

発行所

郵便番号 814-0180 福岡市城南区七隈8-19-1

一般社団法人 福岡大学同窓会有信会

電話 (092)871-6631 FAX (092)863-3668

E-mail yushin@adm.fukuoka-u.ac.jp

印刷所

福岡市西区周船寺3-28-1 正光印刷(株)

- | | | | |
|------|--|--------|--|
| 2～3面 | 川畑理事長メッセージ
令和6年度会員大会実施要項決まる
新学長に永田氏、母校役職者、学部長決まる
大濠中学・高校が75周年記念式典 | 8～9面 | 七隈トピックス |
| 4～5面 | 大交流会、忘年八日会、新年賀詞交換会
チャリティーゴルフ、ホームカミングデー | 10～11面 | 支部だより(周南支部、別府支部、田川支部)
支部ヒストリー～香川県支部・高木支部長 |
| 6～7面 | 商学部第二部、法学部が総会
写真部70周年、新体操競技部30周年 | 12～13面 | 支部だより(地域支部報告) |
| | | 14～15面 | 令和6年度 事業計画・収支予算 |
| | | 16面 | OB、OG 探訪⇒和歌山大学・本山学長
お知らせ、お悔やみ |

完成間近の福岡大学病院新本館



母校新学長に永田教授(理学部)

令和6年度 会員大会は6月29日

大交流会、忘年八日会、新年賀詞交換会

別府支部30回 田川支部50周年 周南支部50周年

有信会のホームページ

有信会

検索



有信会への問い合わせは
yushin@adm.fukuoka-u.ac.jp

福岡大学(母校)の情報は
<https://www.fukuoka-u.ac.jp/>

「石村前理事長の足跡と共に」 継承と発展―使命を果たす新たな決意

令和5年6月24日の理事会で、有信
会理事長に就任いたしましたことになりました。
有信会理事長には、平成19年から平
成29年までの10年間務め、その後6年
間は、名誉理事長兼
理事として、有信会
の運営に携わってま
いりました。



一般社団法人 福岡大学同窓会有信会 川畑 懿子理事長

け
ます。

川畑理事長、学校法人副理事長に

学校法人福岡大学の理事会が昨年12
月22日にあり、有信会の川畑理事長が、
副理事長に選出された（2期目＝任期
は3年）。

止、支部総会もほとんどが中止となる
中で、福岡大学の支援や支部総会への
ご出席など積極的に行動なさっていら
っしゃいました。しかし、福岡教育大
学の職務、教員への指導・助言、教員不
足問題などに専念したいとのご希望が
あり、退任なされることとなり、2年間

という短い期間ではございましたが、
有信会の発展のためご尽力を賜りあり
がたく存じております。ありがとうございます。
ございました。今後とも、有信会へのご支
援・ご協力をお
願い申し上げます。
最後になりました
すが、理事長と
して、有信会の
発展のために誠
心誠意最善の努
力を尽くして参
りたいと存じま
すので、なにと
ぞ一層のご指
導、ご鞭撻を賜
りますようお願い
申し上げます。

令和6年度 会員大会は6月29日

令和6年度の会員大会は6月29日、
福岡市のホテルニューオータニ博多で
開催される。当日は午後1時から全国
の地域支部と職域支部の支部長会を皮
切りに、代議員総会が行われる。また講
演会も5年ぶりに一般市民へ無料開放
される（講師は未定）。

懇親会では川畑理事長、来賓あいさ
つ、退任支部長への感謝盾や感謝状の
贈呈などが予定されている。



5年ぶりに通常開催となる会員大会（写真は昨年度の会員大会）

新年度の事業計画・ 予算決まる

2月6日に開かれた理事会で、令和6年
度の事業計画、収支予算を検討、全会一
致で承認した。事業計画は、母校への支
援、公益活動の推進、事業活動の充実と
会員相互の親睦強化、各種会議・会合の
有効な運営、広報活動の充実など8項目
からなっている。（内容は14、15面に掲載）

スケジュール

- ①支部長会 13:00~14:00
- ②代議員総会 14:20~15:20
- ③講演会 16:00~17:30
- ④会員大会・懇親会 17:45~19:45



役職	氏名
学長	永田 潔文(理学部)
副学長	則松 彰文(人文学部)
副学長	永星 浩一(商学部)
副学長	山下 恭弘(法学部)
副学長	吉満 研吾(医学部)
事務局長	菊地 光男
人文学部長	関口 浩喜
法学部長	北坂 尚洋
経済学部長	渡邊 淳一
商学部長	長束 航
理学部長	林 政彦
工学部長	辰巳 浩
医学部長	小玉 正太
薬学部長	松末 公彦
スポーツ科学部長	檜垣 靖樹
教務部長	鶴田 直之(工学部)
学生部長	築山 泰典(スポーツ科学部)
図書館長	佐藤 伸(経済学部)
研究推進部長	鹿志毛 信広(薬学部)
第二部主事	村上 剛人
福岡大学病院長	三浦 伸一郎
福岡大学筑紫病院長	河村 彰



新学長
永田潔文教授

母校学長選挙が昨年9月に行われ、理学部の永田潔文教授が新学長に決まった。10月の理事会で承認を受けた。副学長は人文学部の則松彰文教授(教学担当)、商学部の永星浩一教授(財政・学生・情報担当)、法学部の山下恭弘教授(研究・社会連携・就職・ガバナンス担当)、医学部の吉満研吾教授(医学・医療・健

新学長に永田氏(理学部) 副学長は則松、永星、山下、吉満の4氏 母校役職者、学部長決まる



山下恭弘教授



則松彰文教授



吉満研吾教授



永星浩一教授

康担当)の4氏、事務局長には菊地光男氏が選任された。任期は令和5年12月1日から令和9年11月30日まで。また、任期満了に伴う学部長など役職員の改選も行われた(別表)。12月1日付けで就任し、任期はいずれも2年。

母校正門で イルミネーション点灯式

「福岡大学イルミネーションスペシャルイベント2023」が昨年10月13日、母校正門で開幕点灯式があり母校を彩った。写真。今回の事業に対して有信会から支援金を贈り、母校朔学長から有信会の川畑理事長に感謝状が手渡された。イルミネーションを一目見ようと多くの来場者で賑わった。点灯後、会場ではキッチンカーが出店し、ブラスバンドの演奏もあり、来場者を楽しませた。



感謝状を受け取る川畑理事長

12月27日
まで毎晩点灯され、その期間中元ソフトバンクホークスの工藤監督のトークショーなどさまざまなイベントが行われた。



75周年記念式典を挙行 附属大濠中学・高校

附属大濠中学校・高等学校が創立75周年を迎え、昨年10月14日、同校で盛大な記念式典が行われた。有信会から川畑理事長はじめ来賓、教職員、中学、高校生徒、2500人が参加した。写真。



母校の貫正義理事長、朔啓二郎学長による式辞、福岡県私学協会会長の祝辞があり、同高校の26回卒業生の上野誠國學院大學教授による記念講演が行われた。上野教授は「古典に学ぶ、今、ここで」をテーマに「古典が今の文化を支えている。文化によって心をついて出来る」と語りかけた。記念講演後、「祝い唄」が披露され、参加者は手拍子で75年の歴史と伝統に思いをはせた。

有信八日会

がんばれ後輩！

—新社会人を迎え大交流会

「はじめまして先輩！がんばれ後輩！」—新社会人たちを招き、有信八日会運営委員が企画・運営する「大交流会」が昨年8月19日、ホテルニューオータニ博多(福岡市中央区)で開催された。卓話講師には母校卒で昨年国立和歌山大学学長に就任した本山貢さん(体育59)を招き、「未来への架け橋、福岡大学の学びが国立和歌山大学につながる」と題して講演があり、学長としての責務とこれからの大学のあり方について語った。

参加した新卒社会人9人の紹介があり、全員がタスキをかけて、就職先の近況やこれからの働き方など先輩達と名刺を交わし意見交換をしていた。抽選会では、豪華な景品の当選者が決まるたびに会場は大きな拍手や歓声に沸いた。



先輩たちと楽しく交流



壇上で挨拶する新卒社会人

今年もお疲れ様でした！

—忘年八日会

「忘年八日会」は昨年12月9日、福岡市のTKP天神スカイホール(福岡市中央区)であり96人が参加。コロナ禍からようやく復活の兆しが見えてきた令和5年を締めくくった。

忘年会も中止が続き久しぶりの開催。福引き抽選会では、家電製品から年末宝くじまで豪華賞品が用意され、年の瀬の思わぬプレゼントに当選者たちは喜んでいました。

新年賀詞交換会4年ぶりに

有信会の新年を飾る「新年賀詞交換会」が1月24日、ホテルニューオータニ博多(福岡市中央区)であり、母校から永田学長はじめ、副学長、学部長など役員者らの来賓を迎え総勢173人が参加。4年ぶりに一同揃って新春を祝った。

川畑理事長は「来る100周年に向け母校を支援します。また今年はパリ五輪の年。母校から多くの選手が出場し、活躍に期待します」とあいさつ。昨年学長に就任した永田学長が「社会と時代を拓く人材を育て、有信会と共に発展したいと思います」と新年の抱負を語った。

アトラクションでは和太鼓部「鼓舞猿」のメンバーによるパフォーマンス、応援団による応援歌、校歌の演武があり、新時代への期待を込めて杯を上げ、新春らしく華やかな賀詞交換の場となった。



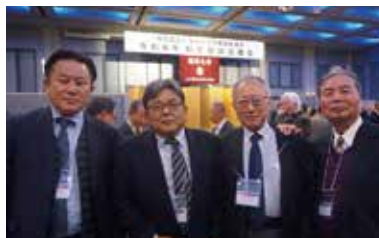
豪華賞品が当たり喜ぶ参加者



アトラクションで美声を披露する小嶺さん(法46)



地域支部からも多くの方が駆け付けた



チャリティーゴルフ ホームカミングデー

「チャリティーゴルフ大会」 —秋晴れの下269人参加

「第86回チャリティーゴルフ大会」が昨年10月6日、福岡県小郡市の小郡カントリー倶楽部で開かれた。コロナ禍による延期が続き、久しぶりの開催となったが、今回も同窓生はじめ72組269人が参加。秋晴れの空の下でゴルフの腕を競った。写真下。

恒例のチャリティーホールでは25万円の募金が集まり、川畑理事長から社会福祉法人穂波学園へ寄贈された。参加者たちは発表される順位やスコアに一喜一憂しながら、各賞品をつれしそうに受け取っていた。



チャリティー募金の目録を手渡す川畑理事長

「ホームカミングデー（卒業生の集い）」 —朔学長が記念講演

「第18回福岡大学ホームカミングデー」が昨年11月3日、母校メテカルホールであった。5月の創立記念日から七隈祭開催日に合わせた日程に変更されているが、コロナ禍で4年ぶりに開催。卒業生の再会や新たな出会い、校友同士の交流を深める場として18回目を数える。母校朔学長の記念講演、和太鼓部(鼓舞猿)の演奏、応援団による卒業生へのエールが行われた。

恒例のお楽しみ抽選会では、豪華賞品の当選者が読み上げられるたびに大きな歓声が沸いた。参加者全員に記念品が贈られ、七隈祭開催中の母校での1日を楽しんだ。

新たに有信会員115人

—令和5年度前期卒業式

令和5年度の前期卒業式が昨年9月30日、母校831教室で挙行され、大学・大学院の115人が学び舎を巣立っていった。式典序曲、開式、国歌斉唱の後、朔学長が前期卒業生総代の福島悠仁さん(人文学部)に学位記を授与した。朔学長は「自由な発想を大切にしながら、支えてくださる多くの人たちに感謝することを忘れず、これからも高い目標に向かって頑張ってください」と挨拶、有信会の村上理事が「有信会の会員としてこれから社会で頑張ってください」と祝辞を述べた。

最後に校歌を斉唱し、閉式後、各学部に分かれ学部長より学位記が手渡された。



理事長祝辞を代読する有信会村上理事



熱気あふれる鼓舞猿メンバーによる太鼓演奏

有信会

**学部、支部の情報も充実、
リニューアル～
有信ホームページ**

昨年リニューアルしたホームページはスマートフォンにも対応し、有信会の日程や活動をわかりやすくお届けする。学部同窓会のホームページともリンク。地域支部、職域支部の活動情報、現役生のたちの活躍も紹介する。また広報「有信」の過去のバックナンバーもデジタルブックとして読める。

バーコードで登録を！➡

学部同窓会

鬼木衆議院議員が特別講演

—商学部第二部同窓会総会を開催



現役生も交え全員で記念撮影

商学部第二部同窓会（鬼木彬会長＝商二44）の第13回総会が昨年11月19日、KKRホテル博多（福岡市中央区）であり、母校から長束商学部第二部主事、有信会から川畑理事長、瀬尾、百田両副理事長、会員、現役学生ら27人が参加した。川畑理事長が「働

きながら学べることの果たす役割は大変大きいと思います。商学部第二部をますます発展させてください」と挨拶した。記念講演として、鬼木会長のご子息でもある衆議院議員の鬼木誠さんを講師に迎え、「日本の安全保障」をテーマに、日本の防衛能力や国際情勢について詳しい解説があり、参加者たちは熱心に聞き入っていた。



鬼木さんの講演を熱心に聞く参加者

法学部同窓会 第17回総会を開催

法学部同窓会総会（井上文博会長＝法48）の第17回総会、懇親会が昨年11月3日、母校文系センターであった。新型コロナウイルス感染症拡大のため、ここ数年間は様々な活動が中止されていたが、感染症の収束を受けての開催となった。母校から12月に就任する山下新副学長、北坂新学部長、有信会からは川畑理事長が出席。懇親会では各世代ごとに学部での思い出や近況などを報告した。

法学部同窓会では、1期生から現役学生までのネットワーク構築を強化し、今後の活動に備えつつ、卒業生全体のエネルギーを結集して、同窓生の親睦を一層深めていくという。

時代を写して70年 —写真部創部70周年

学友会写真部は、創部70周年の記念祝賀会を昨年10月14日、母校文系センタースカイラウンジで開催、写真部OB会（七隈写友会）のメンバー、現役部員も多数参加し70年の節目を祝った。来賓として有信会からは小島理事が出席し祝辞を述べた。



また、母校学術文化部会で初めての女性幹事長に就任した第67代幹事長の榎本愛弓さん（人文・日本語3年）が来賓として出席し写真部70周年の記念式典で学術文化部会の役員を務めた中島義和さん（法54）は、「学術文化部会での歴史の中で女性の幹事長は初めてのこと。今後の活躍に注目したい」とエールを送った。

懇親会では各年代毎に近況報告があり、終始和やかな雰囲気で行われ写真部の今後の発展を誓った。



各年代ごとに近況を報告する参加者



写真部時代の懐かしい話を披露する参加者

部活同窓会

新体操競技部 創部30周年

—花野先生囲み祝賀会開催

新体操競技部は昨年12月16日、創部30周年の記念祝賀会を母校文系センタースカイラウンジで開催した。写真。有信会から川畑理事長はじめ来賓、卒業生、現役生らが参加し、30周年を祝った。

同部は平成5年に体操競技部から独立して発足し、これまでに女子はインカレ団体・個人優勝、また、中国、ドイツへの海外遠征など輝かしい実績を誇っている。創部から8年間、初代部長として同部を育てた花野豊子さんは「独立当時は練習場の確保に苦労した。その苦労を活かして現役生は良い成績を残して欲しい」と挨拶し、当手を振り返った。

まだまだ現役です

—器楽部OB会が演奏会

「第6回器楽部OB会」が昨年10月15日、母校文系センタースカイラウンジであり、往年の名プレイヤー達が集結した。写真。コロナ禍で2019年の第5回から延期が続き、4年ぶりの演奏となった。

ジャズ、ディキシシー、ハワイアン、カントリーの各バンドメンバーが、前回の演奏会から間隔が空いたものの、「まだまだ現役」と熱の入った演奏を披露した。

ユースホステル研究部創部60周年

ユースホステル研究部は昨年11月、福岡市内のホテルで創部60周年を記念し、OBと現役生との懇談会、OB会を開催した。写真。同部は1963年に愛好会として発足、67年に同好会、72年に部へ昇格した。2002年には日本ユースホステル協会からYH運動の啓蒙に対して貢献表彰を受けた。OB会は69年に設立し現在会員は610人。これまでに45、50周年の節目を現役生と祝ったが、今後はOB会の運営の見直し、現役生とのさらなる交流を図っていく。



落語研究会創立55周年

—4年ぶり「OB落語会」開催

落語研究会OB会は「第29回福大OB落語会」を昨年10月7日、母校メディカルホールで開催した。写真。コロナ禍の影響でOB落語会の開催は4年ぶり、今回の寄席は創立55周年記念として行われ、幅広い年代の5人のOBが軽妙な語り口の落語を披露し笑いを誘った。開演前の前説から笑いが起こり、2時間にわたった落語会の会場は、終始笑い声と拍手に包まれた。

終了後は母校文系センタースカイラウンジで懇親会があり、久しぶりの対面での親睦を深めた。



久しぶりの再会で記念撮影をする参加者



初代部長の花野豊子 (スポーツ科学部名誉教授)さん



熱の入った演奏を披露するメンバー

人間国宝 福島善三(経済57)さん 5年ぶりの個展を開催

小石原焼の陶芸家で、福岡県初の人間国宝、福島善三さん(経済57)の個展が昨年10月、福岡三越で開催された。個展は5年ぶりで福島さんの作品156点が一堂に展示された。

福島さんは2017年に人間国宝に認定。窯元の16代目で製作工程の全てを自ら手がけ、特に代表作の「中野月白瓷」は、乳白色に青みがかかり、その美しい色合いが特徴とされ、多くの

来場者を引き寄せた。焼き上がった陶器に生まれるヒビのような模様である「貫入」を表面に現した作品が特徴で、作品に深みと独自の趣が生まれている。

福島さんは、個展ごとに新たな作風に挑戦し「ものづくりは常に進歩が必要。今回はリスクを冒して新しい挑戦に取り組んだ。多くの人に作品に触れ、感じてもらえれば」と話していた。



会場を訪れた川畑理事長に作品を解説する福島さん



熱戦を繰り広げる剣士たち

高校剣士が七隈に集う

「福岡大学長旗高等学校選抜剣道大会」を開催

母校剣道部と剣道部OB会(七剣会)が主催する「福岡大学長旗高等学校選抜剣道大会」が昨年11月3日、母校第二記念会堂で開催され、男女64校が参加した。この大会は、2019年に福岡大学総合体育館・剣道場の完成を記念して行われ、九州だけでなく全国で活躍する高校を招き、剣道修行の機会を提供、心身ともに健康な高校生の育成を目指している。

コロナ禍で第2回以降の開催が控えられていたが、4年ぶりの開催となり、熱戦と共に剣道の魅力が再び母校キャンパスに戻ってきた。有信会から同会の発展に対して川畑理事長が祝金を贈った。



七剣会の江藤会長(体育50=右)と井上さん(商46=左)

伝統の福西戦を制す

九州六大学野球秋季リーグ戦で3季ぶりの優勝!

母校硬式野球部は、九州六大学野球秋季リーグ戦で快進撃を続け8連勝で3季ぶりの優勝を達成した。昨年9月24日に行われた伝統の福西戦では、朔学長が始球式に登場し、熱戦が展開され、卒業生、学生の熱い応援が球場を包み、観客は、点数が入るたびに応援歌を熱唱した。翌25日の試合で、若槻修大投手が延長まで持ち込み、内藤叶夢選手がサヨナラスクイズを決めて4-3で見事優勝を飾った。



伝統の福西戦で声援を送る観客席



功績を称え — 体育部会合同送別会

第58回福岡大学体育部会合同送別会が昨年12月17日、ヒルトン福岡シーホークホテル(福岡市中央区)で開催された。このイベントは、体育部の4年次生の功績をたたえ、同時に学生たちの結びつきを繋げるもので、新型コロナの影響もあり4年ぶりに開かれた。

母校から永星副学長、有信会から川畑理事長、各学部の学部長、学生部委員、体育部会各部の指導陣が出席し、今年度卒業する約300名の4年生部員を見送った。川畑理事長は、「厳しい学生生活を乗り越えた卒業生は感動と希望を与えてくれた。卒業後は有信会の一員として後輩たちを支え、集まり、共に応援してください」との言葉を贈った。



新体操競技部の選手たちと記念撮影

ベンチャー起業論「ビジネスコンテスト」 故阿比留教授の遺志を継いで

経済学部ベンチャー起業論の「ビジネスプランコンテスト2023」が昨年12月16日、母校831教室であった。「ベンチャー起業論」履修の17チームが参加し、上位7チームがステージプレゼンに挑んだ。現状分析、問題発見、原因追究、問題解決への着眼点、提案と立証、行動力、プレゼンテーション能力の審査が行われ、優勝チームが決まる。

「ベンチャー起業論」は故・阿比留正弘教授が1999年に立ち上げ、学生がビジョンやミッションを見つけ、起業や社会の課題解決に取り組む。学生主体の講義とプロジェクト活動で構築され、企業と学生が連携して実践的な課題解決に挑んでいる。



上位7チームが出場した
(写真は8月のビジネスプランコンテスト)

上野由岐子選手の祝賀会を開催

母校附属若葉高校の同窓会「若葉会」は1月13日、ホテルニューオータニ博多(福岡市中央区)で、同校卒業生でソフトボール女子日本代表の上野由岐子選手の祝賀会を開催した。上野選手より東京オリンピック金メダル獲得や紫綬褒章受章等の報告があり、220人の参加者が祝福した。懇親の部では、有信会の川畑理事長が乾杯発声を務め、上野選手のサインボール抽選会などがあり、全員で校歌を斉唱、上野選手の今後の活躍を祈った。



活気あふれる七隈祭

昨年11月3日～5日、七隈祭と雅祭が3日間にわたり盛大に開催された。写真。今回の主眼は「Evoke(喚起)」。2年間の学園祭中止の波を越え、コロナ禍前の風景を取り戻し、未来への発展を願った。商学部第二部の雅祭は「Sky's The Limit(限界はない)」をテーマに、学部生による香水作りやインソール作りなどの企画が実施された。前夜祭では「Lucky Kilimanjaro」「TETORA」のライブが行われ、卒業生のホームカミングデーも4年ぶりに実現した。



支部だより (周年支部開催報告)

周南支部

50周年記念
総会を開催

周南支部(続木石燾支部長Ⅱ工45)は昨年6月17日、支部創立50周年の記念総会・懇親会を「ホテルサンルート徳山」で開催、母校から朔学長、有信会から石村理事長、近隣支部の役員(下関・山口・岩国)を来賓に迎え、会員36人が参加した。

来賓の朔学長が母校の現状についてスライドで紹介し、会員は大きく変貌を遂げる母校の様子に感嘆、驚嘆していた。

近況報告では、昨年春の甲子園に出場した光高校野球部監督の宮秋孝史さん(体育61)から選手との交流や甲子園の裏話が披露された。

嶋田新支部長は「有信会を通して会員の皆様の絆をもっと深め、会員交流の場を広げていきたい」と挨拶。全員で校歌斉唱し支部の「半世紀」を締め括った。



会員 36 人が参加

別府支部

第30回総会
—幸支部長が勇退

別府支部(幸勝美支部長Ⅱ工52)は昨年8月20日、第30回総会を別府市の「悠彩の宿望海」で開催、有信会から水原理事、大分、京築支部の来賓、会員23人が参加し、30回目の節目を祝った。

20年間にわたり支部活動を支えて来た幸支部長が退任し、石川哲雄さん(法57)が新支部長に就任。石川さんは「毎月の例会を中心に楽しい会合にしていきたいのでご協力よろしくお願います」と挨拶した。参加者の自己紹介、近況報告があり、風光明媚な別府湾を



参加者全員で集合写真

眺望する会場で懇親を深めた。



幸支部長(左)が石川新支部長(右)へバントタッチ

田川支部

50周年記念
事業—講演会

創立50周年を迎えた田川支部(笹原義正支部長Ⅱ商48)は昨年9月3日、福岡県香春町民センターで記念事業として母校の田中守副学長を招き、特別講演会「スポーツの魅力語る」を開催、来賓、会員はじめ多くの一般市民も参加した。田中副学長は「少子化の中で医療社会を担う人材の育成、多くの人から愛される国際的な大学像が必要」と語った。

総会は、9月9日、田川市内の高羽会館にて、母校から加留部副学長、有信会から川畑理事長、近隣の5支部の役員を迎え、総勢80人で開催した。笹原支部長が退任し、村上寿利さん(体育53)が新支



会員はじめ多くの一般市民が参加した特別講演会

部長に就任。村上新支部長は「一致団結して地域を盛り上げていきたい」と力強く表明。懇親会の余興では地元のブルースバンドの演奏があり、会員らが郷土芸能「炭坑節」の踊りを振り付け、会場を盛り上げた。最後は恒例の参加者全員で円陣を組んで校歌斉唱し50回の節目を祝った。

川畑理事長、近隣の交流5支部の役員を迎え、総勢80人で開催

支部ヒストリー (香川県支部)

『小さな支部に
大きなスピリッツ!』



高木憲章支部長

「小さな支部に大きなスピリッツ―はみんなの合言葉です」と話す香川県支部の支部長を務める高木憲章さん(法46)。

香川県善通寺市出身、地元坂出工業高校で電気工学を学ぶ理系少年ながらも文学愛好者だった。「これからはホワイトカラーの時代。法律はいいぞ」との父親のアドバイスもあり法学に転換。香川から母校法学部へ進学する。卒業後は電機メーカー「パイオニア」に勤務し、技術と法律の知識を生かし、知的財産分野で活躍する。

赴任地の埼玉で関東地区の同窓会に参加した。福大スポーツの全盛期。神宮、代々木と野球、陸上、サッカーの観戦活動をし、母校に熱烈な応援を送った。故郷香川に転勤後、同窓会を引き受ける。きっかけは香川の大先輩で大手新聞社の重鎮、田中香苗氏にかけられた言

葉だ。「君の母校があるなら母校のためにプラスになる生き方をしなさい、母校の発展は必ず君の成長につながる」との教示に感銘を受けた。

昭和63年に香川県支部を創設、四国ブロックとして近隣の愛媛県支部、徳島県支部の創設にも尽力する。近畿、東海、関東の各ブロックとも連携し、同窓生の絆を深め、入試、就職など母校と同窓生の活動支援に奔走してきた。

しかし、少子高齢化社会、コロナ禍の時代の変化に同窓会活動も新しい局面を迎えていると考える。そうした中でも、「母校は仲間との思い出の場所であり、同窓会はその絆を時空を超えて維持する大切な場所」との信念を掲げ、香川県から母校の発展に寄与する使命感を大切にしている。



支部総会で会員の相談にのる高木支部長

支部だより (2023年6月~2024年1月開催分)

全国各地で職域支部、地域支部を開催

有信会は、「学部同窓会」のほか、東京から沖縄まで62の「地域支部」、36の「職域支部」があり、活発な同窓会活動を行っています。

西日本シティ銀行支部

7月19日(アルマリアン福岡)にて、西日本シティ銀行支部総会並びに新入行員歓迎懇親会を、母校から朔学長、有信会から川畑理事長を来賓に、会員105人が参加し盛大に開催。懇親会では21人の新入行員の自己紹介があり、温かい拍手で迎えた。熊本、佐賀からの出席者もあり会員同士の親睦も更に深まった。来年度の総会に向けて、更なる親交と支部の発展を誓い合い散会した。

豊和銀行支部

7月29日、4年ぶりの総会を労働福祉会館ソレイユ及び花邸にて、有信会から松原理事を来賓に迎え、新入行員を含め20人の会員が集い開催。久しぶりの再会に終始和気あいあいと和やかな雰囲気の中で会を進行した。恒例の各々による近況報告タイムでは、爆笑と拍手の嵐が起るほど盛り上がり有意義な時間を過ごすことができた。来年度の開催と再会を約束し閉会した。

大分銀行支部

10月14日、トキハ会館にて、母校より檜垣教務部長、有信会より松原理事を迎え、第25期大分銀行支部総会・懇親会を、OB会員を含め総勢36人で開催。佐藤支部長(経済62)が9年間の任期を終え退任、渡辺副支部長(商H3)が新支部長に就任した。来賓から母校の現状、有信会の活動報告を伺い、母校を想い出しながら耳を傾けた。恒例の豪華賞品の抽選会では大いに盛り上がり、校歌斉唱、万歳三唱のあと閉会した。

詳しくは有信会ホームページ・「各支部より」をご覧ください。

有信会

検索

伊都支部



7月21日、令和5年度伊都支部総会を「山水荘」にて開催。母校より加留部副学長、有信会から川畑理事長、山口事務局長を来賓に迎え、会員26人が集った。懇親会では、年代を越え談笑し、終始活気溢れた雰囲気の中で大いに盛り上がった。最後は万歳三唱で会を締め括り閉会した。今後もSNSを活用した広報活動を強化しさらなる人の輪を広げていく。

唐津支部



7月22日、第17回唐津支部定期総会を、母校から森山副学長、有信会より水原理事を来賓に迎え、会員含め総勢30人で開催した。(会員28人)総会では森山副学長より大学の現況について話を伺った。事業計画として、唐津湾一帯清掃、八日会、サンセットクルージング等を計画し、更なる会員増強に向けて取り組むことを確認。4年ぶりに会い満面の笑みで話に花が咲き、盛会裏に終了した。

大野城支部



7月22日、一品香 雑餉隈店にて第21回定期総会を開催、母校から小野寺副学長、有信会から瀬尾副理事長を来賓に迎え、会員14人が参加した。総会では、小野寺副学長から大学の現況について説明をいただき大変好評であった。懇親会では歓談と自己紹介にて交流を深め、最後に校歌斉唱、熊本先輩の万歳三唱にて閉会となった。

萩支部



8月26日、温泉の宿萩本陣にて、4年ぶりに総会を開催。母校から加留部副学長、有信会から川畑理事長、山口事務局長を迎え、会員27人が集った。総会では加留部副学長が母校の現況を説明、川畑理事長が自身の戦争体験と現在に至るまでの人生観について講演、参加者は真剣に耳を傾けた。最後に校歌斉唱、板垣副支部長のエイエイオーコールで締め括り次回の開催を祈念し閉会した。

大分支部



9月30日、第47回大分支部総会を下キハ会館にて開催。来賓として母校から中川学部長、有信会から川畑理事長を迎え、会員105人が集った。懇親会では、豪華景品がくじ引きされ、歓喜喝采で手渡された。最後に全員で肩を組み、福大節、校歌を大合唱し、京築支部の榎谷支部長(商45)の音頭で万歳三唱し閉会となった。

鳥取西部支部



10月14日、土井一朗(工56)さんが経営する「海王」にて鳥取西部支部総会を開催。17人のいつもの顔ぶれが参加したが、若い会員の参加が増えてくれることを願う。総会では、決算の報告を承認、懇親会では、それぞれの近況を報告、笑いの絶えない時間となった。最後に西村会員の音頭による校歌斉唱と来年の再会を約束し閉会した。

山口支部



10月14日、湯田温泉のかめ福オンプレイスにて4年ぶりの総会を開催。来賓に母校から関口人文学部長、有信会から水原理事を迎え、会員17人が参加した。新支部長には川崎氏(法53)を選任。澤藤前支部長、山本幹事への追悼の献杯をし懇親会を開始。初参加者を含め全員の自己紹介で懇親を深め、終始和やかに時を過ごした。来年度の支部創立50周年の記念総会に向けて会員の増強を誓った。

宮崎県支部



10月14日、4年ぶりとなる第39回宮崎県支部総会を、アートのホテル宮崎スカイタワーにて、母校から林理学部長、有信会から瀬尾副理事長を迎え、会員98人が集い盛大に開催。サッカー(J3)「チゲバジャーロ宮崎」の卒業生も参加し、サイン入りユニフォームをプレゼント。会員からも応援の声がかけられた。最後に全員で声高らかに校歌を斉唱し、来年度の再会を誓って散会した。

沖縄支部



10月14日、4年ぶりの沖縄支部総会を沖縄ハーバービューホテルにて会員13人で開催。コロナ、インフルの影響もまだあり有信会からの来賓は控えた。野原支部長から照屋新支部長(医60)にバトンが渡され、9年間の野原支部長の功績を称えた。久しぶりの再会を喜び会話も弾み、最後は校歌を高らかに歌い閉会。次年度は参加会員を増やす努力をしていく。

直岐支部



10月20日、エクセレントガートンにて、第52回直岐支部総会を開催。母校より加留部副学長、有信会より川畑理事長、近隣支部の役員を来賓に迎え、総勢65人が4年ぶりに顔を合わせた。榎谷京築支部長の乾杯発声で開会、「たけはるお」のものまねショーなど会場は大いに盛り上がった。最後に全員ステージに登壇し校歌を斉唱、村上田川支部長の万歳三唱で閉会した。

支部だより (2023年6月~2024年1月開催分)

鹿児島支部



10月21日、鹿児島支部総会を鹿児島サンロイヤルホテルにて4年ぶりに開催。母校の小野寺副学長、有信会の川畑理事長を来賓に迎え、会員120人が集った。7人制ラグビーリオ五輪日本代表の桑水流裕策氏(スポH20)から鹿児島国体参加の報告があった。水溜氏(商51)、下野氏(商58)のトーンビが舞う中、初参加で応援団出身の園田氏(経済R4)が力強いエールを切り、万歳三唱で来年の再会を誓い閉会した。

熊本支部



11月7日、第48回熊本支部総会を鶴屋百貨店カーネーションサロンで開催。母校から小玉医学部長、有信会から石村前理事長、松原理事を来賓に迎え、会員51人が参加した。石村前理事長より「七隈の学びく夢を生徒と共有する教職」と題して講演があった。中西支部長の退任で中野新支部長が誕生、初参加者のスピーチなど懇親を深め、寺地さん(経済39)の万歳三唱にて盛会裏に閉会した。

京築支部



11月11日、新型コロナウイルスが第5類に分類され、母校から小野寺副学長、有信会から川畑理事長、近隣支部から19人の来賓を迎え、令和5年度京築支部総会を開催した。会員参加は22人と少なかったが、久しぶりの再会に近況報告など楽しく交流を深めた。来年度の総会は多くの会員が集つことを期待する。

日田支部



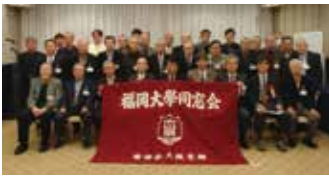
11月12日、4年ぶりに日田支部総会を開催。母校から朔学長、有信会から川畑理事長を来賓に迎え、日田市名物の天領祭り千年明かりを見物後、亀山亭ホテルにて総会を開催。役員改正で川崎支部長(商51)から鬼木新支部長(医53)への交代を承認。来年度は、5月末の観光祭・川開きで鮎解禁の日の三隈川で花火の打ち上げを見ながら総会を開催する予定。

下関支部



11月18日、シーモールパレスにて、母校から田中副学長、有信会から石橋理事、北九州支部の役員を来賓に迎え、会員48人で、4年ぶりに総会を開催。大学や有信会の現状、北九州支部の活動について話を伺った。伝統の下関支部フルーツ争奪戦では、くじ引きに一喜一憂、充実した時間を過ごした。来年度は11月15日、シーモールパレスにて開催予定。

大阪支部



11月18日、ニューオーサカホテル新大阪にて第76回となる大阪支部総会を3部構成で開催。来賓として母校の森山副学長、有信会の石川理事を迎え、第1部は小宮氏(法59)が「いつまでも元気な操体法」の講演、第2部は母校や有信会の現況を聞いた。第3部は懇親会で初参加者ら会員自己紹介、名刺交換をし、終始にぎやかに盛り上がり、有志で二次会へ繰り出した。

宇部支部



11月24日、宇部支部総会をANAクラウンプラザホテル宇部に、有信会から石川理事を来賓に迎え、会員含め総勢23人で開催。役員改正で新支部長に真宅氏(法55)、新事務局長に古西氏(法H元)が就任した。懇親会では学生時代の思い出話に大いに盛り上がり、親交を深め、最後に校歌を声高らかに斉唱し、記念写真撮影で幕を閉じた。

岩国支部



11月25日、岩国支部総会を会員13人が参加し、割烹喜代で恒例のフグ懐石をいただきながら開催した。学生時代を懐かしみ旧交を暖めることができた。岩国支部は、規模は小さくても会員同士が家族ぐるみの付き合いで長きに渡り存続している。今後も、今までの以上支部会員の絆を深めていきたい。

香川県支部



11月25日JRホテルクレメント高松にて、母校から山下法学部長、有信会の松原理事、来賓ゲストと17人の会員で4年ぶりに開催。高木支部長が3年間の総会中断の経緯説明があった。来賓の松原理事に「変貌する天神ビッグバン」について詳しい解説があり、参加者は熱心に聞き入っていた。懇親会では、和洋折衷の讃岐料理と地元銘酒で楽しみ、会員同士の交流後、万歳三唱で総会は終了した。

神戸支部



12月9日、4年ぶりの総会を元町中華料理「東光」にて開催。出席者は10人。懇親会は大坂支部・原支部長の音頭で乾杯し、会員の近況報告、母校の話に花が咲いた。関西地区を代表して大阪支部の原支部長が各支部の活動状況を報告。「神戸支部の活動を活性化させよう」との来年度へ向けた多数の意見に、役員一同、期待に沿うよう努力することを約束し散会した。

令和6年度 事業計画書

一般社団法人福岡大学同窓会有信会は、昭和12年3月に福岡大学の前身福岡高等商業学校第一回生の卒業と同時に発足し、名称を「友信会」とした。昭和27年5月25日に「有信会」に名称変更し、文部省（現文部科学省）の許可を得て昭和30年2月1日社団法人有信会として発足し、公益法人制度改革三法の施行により、内閣総理大臣の認可を得て平成25年4月1日に一般社団法人に移行し、一般社団法人福岡大学同窓会有信会（以下「有信会」という。）に名称変更した。

本年度は、同窓会発足から87年目、社団法人発足から69年目、一般社団法人移行から11年目を迎えることになる。

有信会は、母校のご理解と支援により活動を継続しているが、今後も、会員相互の情報交換、親睦、異業種交流等をもって同窓会の活性化を図ると共に、大学との協議、連携を継続し、卒業生と母校の絆をより強固なものにするよう努め、もって母校の更なる発展充実に寄与する。

同時に、地域に受け入れられる公益活動等を継続し、団体としての社会的責任を果たす。

昨年5月に新型コロナウイルス感染症の位置づけが、季節性インフルエンザと同じ5類に変更され、昨年度は、有信会の事業も4年ぶりに開催することができた。

令和6年度は、コロナ禍の経験を活かし、コロナ禍前のように有信会事業が展開できるようにする。

1 母校への支援

母校及び在学生への支援を行う。

(1) **母校及び在学生への経済的支援等** 母校において、卒業生を母校に迎える「ホームカミングデー」を大学との共催により令和6年11月初旬に行う。

母校在学生の課外活動への支援、対外試合での応援を同窓会会員に呼びかける。

(2) **在学生との懇談会を行う。** 同年5月13日(月)、ホテルニューオータニ博多において在学生との懇談会を行う。在学生は有信会にとって準会員であり、卒業後は有信会の会員になることから、有信会構成員の後継者としての自覚を促し、指導的人材の育成にも取り組む必要がある。

学友会所属部員の学生、一般学生及び留学生にも参加を呼びかけ参加学生が、地域経済、文化芸術、その他の部門で活躍されている指導的役割を果たしている多くの卒業生と「実業界の現状と展望」、「就職への心構え」、「社会性の涵養」等につき忌憚のない意見を交す有意義な情報交換の場にする等と共に、卒業後は同窓会組織としての有信会活動に積極的に参加しやすい広報活動を行う。

令和6年度の講師は、平成20年スポーツ科学部卒業の元7人制ラグビー日本代表 桑水流裕策氏にお願いしている。

(3) **就職支援ガイダンス等を行う。** 在学生と有信会会員との就職相談会、専門職有資格者による国家資格取得への支援ガイダンス等について、母校キャリアセンターの活動を積極的に支援する。

(4) **母校のエクステンション活動及び情宣活動を支援する。**

2 公益活動の推進

地域社会との連携を深める。また地域福祉を含めた公益活動を実施する。

(1) **講演会の開催** 令和6年6月29日(土)、ホテルニューオータニ博多において、会員大会開催当日、一般市民も参加可能な「公開講演会」を開催する。

講師 未定

(2) **社会福祉活動** 有信ゴルフ会は、秋季にチャリティーゴルフ大会を開催し、チャリティー募金を福祉施設等に寄贈する。

(3) **学友会OB会や各支部での各種ボランティア活動を支援する。**

3 事業活動の充実と会員相互の親睦強化

(1) **在学生との懇談会** 前記のとおり。

(2) **ホームカミングデー** 前記のとおり。

(3) **会員大会** 令和6年6月29日(土)、ホテルニューオータニ博多において行う。

支部長会、代議員総会にて令和5年度事業報告及び決算報告を行い、講演会終了後、懇親会を開催する。

(4) **有信チャリティーゴルフ大会** 前記のとおり。

(5) **新年賀詞交換会** 令和7年1月22日(水)、ホテルニューオータニ博多において行う。

(6) **有信八日会** 会員の懇親、情報交換、異業種交流等の目的で「有信八日会」を年9回開催する。

4月、7月、8月、9月、10月、11月、12月、2月及び3月に開催する。

4 各種会議・会合の有効な運営

各種会議・会合を必要に応じ開催し、組織の活性化に努める。

(1) **理事会** 年5回ないし6回開催する。有信会活動に関連する重要事項を精査のうえ審議し、業務の円滑化に努める。

(2) **定時代議員総会** 令和6年6月29日(土)、ホテルニューオータニ博多において行う。

主たる議題は、令和5年度事業報告及び決算書類等の承認である。

(3) **地域・職域支部長会** 同年6月29日(土)、ホテルニューオータニ博多において行う。

(4) **各委員会** 有信会の活動分野ごとに設けている委員会を必要に応じて開催する。諸問題の協議内容の充実と円滑な推進を図る。

(5) **母校福岡大学との連絡会議** 母校と有信会との意思疎通を図るため、必要に応じ関係役職者や関係部局と連絡会議を行う。

5 広報活動の充実

全国の有信会会員に広報紙「有信」とホームページを通して、有信会の運営方針や活動状況、各支部の活動、母校の現況などを発信する。「親しみやすく、分かりやすい」広報になるよう努める。

(1) **広報紙「有信」** 活字媒体としての広報紙「有信」は、会務報告、会員の活動情報、支部の活動状況報告等についてホームページと連携しつつ、多面的かつ掘り下げた内容になるように充実した紙面を目指す。

(2) **ホームページ** 令和元年度にリニューアルしたホームページの内容の更新に努め、会員に最新の情報を届けると共に、各種行事や支部の行事予定、会員提供による企業情報等を充実、学生の顕著な活躍や成績のタイムリーな掲載に努める。また、学生の活動状況を知るために母校ホームページのアクセスが簡単にできるように努める。より使いやすいホームページを目指し、随時見直しを図っていく。

6 組織の活性化

有信会を支えるのは、各地域支部、職域支部及び学部同窓会であり、また、学友会OB会である。これらの組織を相互に有機的に機能させ、若年層及び女性会員が参加しやすい企画を立案すると共に、異業種間の交流の促進を図る。その他、会員が気軽に有信会活動に参加できる環境、情報をあらゆる組織を通して提供するように努め、もって有信会自体の行事への参加者増加につなげていく創意工夫をする。

7 会員データベースの充実と情報管理体制の徹底

会員データベースは、同窓会活動の源になる情報であり、広報、各種会合案内や終身会費納入願いの送付に欠かせないものである。個人情報保護法を遵守して個人データの取得、その管理に遺漏のないように努める。

8 財政基盤の強化

(1) **終身会費徴収の徹底** 終身会費は、同窓会活動を行う上で大切な財源である。平成27年度以降の卒業生については、大学による全額委託徴収が行われているが、それ以前の卒業生については、終身会費の未納者が存在する。

未納者には、広報紙「有信」やホームページ等を活用して納付を働きかける。

(2) **経費節減の努力** 経費節減に努め、事業活動においても効率的な運営を行うように努める。

◆有信会の主なスケジュール◆

月日	予定行事
4/ 1	大学入学式
	中 会計・業務監査
	下 第1回理事会
5/11	糟屋支部総会
	13 在学生との懇談会
	17 北九州支部総会
	18 筑紫野支部総会(20周年)
	〃 太宰府支部総会(20周年)
	19 日田支部総会
	25 工学部(電気)「福電会」同窓会総会
	中 奈良支部総会
	〃 大牟田支部総会
	下 古賀支部総会
	〃 佐賀支部総会
6/ 1	東京支部総会
	〃 伊万里有田支部総会
	15 東海支部総会
	上 第2回理事会
	中 周南支部総会
	〃 浮羽支部総会
	下 長崎支部総会
7/ 6	大野城支部総会
	〃 医学部「烏帽子会」同窓会総会
	19 久留米支部総会
	上~下 伊都支部総会
	上 太宰府支部総会
	〃 諫早支部総会
	中 唐津支部総会
	〃 佐世保支部総会
	〃 別府支部総会
8/下	岡山支部総会
	〃 萩支部総会
9/ 6	豊和銀行支部総会
	14 田川支部総会
	上~下 商学部同窓会総会
	下 神戸支部総会
	下 島根東部支部総会

[注] 上中下は上旬、中旬、下旬
スケジュール等に変更がある場合がありますので、事前にご確認ください。

令和6年度 収支予算書

令和6年4月1日から 令和7年3月31日まで

単位：円

科 目	予算額(A)	前年度予算額(B)			
I 事業活動収支の部			賃借料支出	900,000	900,000
1 事業活動収入			光熱費支出	250,000	250,000
①財産運用収入			支払手数料支出	250,000	250,000
財産運用収入	11,000	51,000	公租公課	70,000	70,000
②会費収入			雑費支出	4,310,000	4,310,000
会費収入(1)	128,580,000	130,402,500	管理費支出計	40,595,000	45,904,000
会費収入(2)	3,500,000	4,000,000	事業活動支出計	138,880,000	143,947,000
③負担金収入	2,720,000	2,720,000	事業活動収支差額	1,582,000	△1,122,500
④有信共益事業収入			II 投資活動収支の部		
有信八日会収入	3,700,000	3,700,000	1 投資活動収入		
有信ゴルフ会収入	1,950,000	1,950,000	①退職給付引当預金取崩収入	0	6,269,000
⑤雑収入	1,000	1,000	投資活動収入計	0	6,269,000
事業活動収入計	140,462,000	142,824,500	2 投資活動支出		
2 事業活動支出			①特定資産引当資産支出		
①事業費支出			退職給付引当預金支出	567,000	1,058,000
母校援助費支出	28,400,000	30,400,000	②固定資産取得支出		
広報紙発行費支出	31,670,000	30,550,000	事業積立金I繰入支出	30,000,000	30,000,000
IT事業費支出	4,300,000	4,300,000	什器備品取得支出	500,000	1,000,000
会員大会費支出	5,230,000	5,230,000	投資活動支出計	31,067,000	32,058,000
講演会費支出	4,470,000	1,820,000	投資活動収支差額	△31,067,000	△25,789,000
新年賀詞交換会支出	2,695,000	2,673,000	III 財務活動収支の部		
支部援助費支出	15,870,000	17,420,000	1 その他の収入		
有信共益事業支出			前受会費収入	98,175,000	96,825,000
有信八日会支出	3,700,000	3,700,000	その他の収入計	98,175,000	96,825,000
有信ゴルフ会支出	1,950,000	1,950,000	2 収入調整勘定支出		
事業費支出計	98,285,000	98,043,000	前受会費調整支出	97,425,000	98,782,500
②管理費支出			収入調整勘定支出計	97,425,000	98,782,500
給料手当支出	16,970,000	17,270,000	財務活動収支差額	750,000	△1,957,500
福利厚生費支出	2,490,000	2,490,000	IV 予備費支出	3,000,000	3,000,000
退職金支出	0	6,269,000	当期収支差額	△31,735,000	△31,869,000
会議費支出	5,550,000	4,530,000	前期繰越収支差額	289,829,993	284,845,320
旅費交通費支出	3,925,000	3,825,000	次期繰越収支差額	258,094,993	252,976,320
通信運搬費支出	2,230,000	1,830,000			
消耗品費支出	870,000	860,000			
印刷製本費支出	2,780,000	3,050,000			

(注) 収支予算書に対する注記

・前期繰越収支差額

令和6年度収支予算書における前期繰越収支差額は、令和5年度決算書(令和6年3月31日)の決算見込み額で計上している

OB・OG探訪

国立和歌山大学学長 本山 貢さん(体育59)に聞く



岡山県立勝山高校から
母校体育学部へ

高校で水泳をしていま
したが、残念ながら関節故
障で大学のクラブ活動は
断念しました。その後、ポ
ランテアやアルバイト
で子供たちに水泳指導を
する中で、教育への興味が
芽生えました。
—進藤、田中両先生の下で運
動生理学を研究されました
進藤先生は深夜まで学
生のサポートをしてくれ、
感謝しています。田中(宏
暁)先生の指導は海外での
学会発表で非常に貴重で
した。卒業後、福岡の病院
勤務を経て、健康づくりに
関連する仕事に従事しま
す。特に高校教員の道も考

えましたが、大学教員への
夢が高まり、ちょうど和歌
山大学での教員募集があ
り採用されました。

—高齢者の介護予防の研究
をされています

和歌山大学では県内の
研究をフィールドに、地域
に密着した活動を重視し
ました。特に、介護予防に
関する運動プログラムの
構築に取り組み、その成果
を和歌山県全体に広げる
ことができました。



—学長就任後、どんな課題
に取り組まれていますか

学内の教育・研究、大学
経営、地域貢献、グローバ

ル化などに注力していま
す。和歌山大学の小規模で
ありながらも学部間の連
携やコミュニケーションの
取りやすさを活かし、学生
のキャリア形成や人材育
成に寄与できる環境を整
えています。大学経営にお
いても、地域の発展や連携
による大学の魅力を引き
出すことが重要だと考え
ています。地域との連携を
深めるために企業訪問を
行ったり、教職員とのコ
ミュニケーションを大切に
しています。

—学長としてのビジョン
をお聞かせください

学生数の減少が進み、国
立大学の役割や使命が問
われています。大学が独自
の発展性を見いだすよう
努め、学生たちが多様な視
点から学び、ウェルビーイ
ングと学びの協調を大切
にする大学を目指してい
ます。将来は母校福大と和
歌山大学で何か提携でき
ればと思います。

井上 絢登選手がドラフト
指名挨拶

横浜 DeNA ベイスター
ズにドラフト6位で指名を
受けた母校野球部出身の井
上 絢登選手(商R4)が昨年
12月14日、ドラフト指名の報
告に有信会事務局を訪れた。
川畑理事長が有信会から花
束と褒賞金を贈り、井上選手
に「母校の名声を高め今後の
活躍をお祈りします」と声援
を送った。井上選手は母校永
田学長への挨拶や野球部員
との交流会に出席し、後輩た
ちに自身の経験をもとにア
ドバイスを送っていた。



有信会を訪れた井上選手に有信会
から褒賞金が贈られた

お悔やみ申し上げます

【福岡大学関係】

- 名誉教授(法学部) 坂口 裕英(92歳) 令和5年7月22日逝去
- 名誉教授(経済学部) 阿比留 正弘(70歳) 令和5年8月7日逝去
- 名誉教授(薬学部) 占野 廣司(82歳) 令和5年9月21日逝去
- 名誉教授(法学部) 宮谷 俊胤(84歳) 令和5年10月17日逝去
- 名誉教授(スポーツ科学部) 北原 滋夫(88歳) 令和5年12月30日逝去
- 名誉教授(医学部) 吉田 稔(91歳) 令和6年1月8日逝去
- 名誉教授(人文学部) 皿田 洋子(75歳) 令和6年1月30日逝去

【有信会関係】

- 元理事・元商学部第二部同窓会会長
甲斐 文治(90歳) 令和5年12月12日逝去
- 元理事・法学部代議員
辛嶋 保馬(84歳) 令和6年1月24日逝去

お知らせ

有信会員の皆様へ

ご住所、連絡先の変更は事務局へご一報を!

氏名・住所・勤務先・電話番号等を変更された場合、
お手数ですが事務局までご連絡していただくか、
スマートフォン、PCから有信会ホームページ
(有信会=検索)へアクセスして入力してください。



令和6年開催予定の学部同窓会

医学部	令和6年7月6日	商学部	令和6年9月
法学部	令和6年11月上旬	工学部	開催予定
商学部第二部	令和6年11月23日		